

原子力学会標準委員会 リスク専門部会
第 41 回レベル 2PRA 分科会審議

日時 2021 年 10 月 22 日（金）13:30-16:40

場所 Web 会議

出席者：

委員：村松（主査）、成宮（副主査）、濱崎（幹事）、廣内（幹事）、山越（幹事）、吉田（幹事）、池田、宇井、小野田、楠木、小谷、鈴江、白石、中村（真）、橋本、原口、松山、渡邊 17 名出席

（欠席）石川、中村（康）、美原

常時参加者：阿部、大沼、杉田、友澤、長江

（欠席）小城、西村、三浦

議事：（発言者省略）

議事に先立ち、定足数及び配布資料の確認を行った。

議題 1 前回議事録の確認

<要旨>

山越幹事より、資料 P10SC41-1 に基づき、前回議事録要旨（案）の概要版について説明があった。特にコメントなく、正式版として発行することが承認された

議題 2 人事案件

<要旨>

濱崎幹事より、資料 P10SC41-2 に基づいて説明がなされ、委員退任及び委員選任が承認された。

- ・委員退任 千年宏昌（日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社）
- ・委員選任 吉田昂平（日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社）

議題 3 津波拡張版標準原案に関する標準委員会決議投票で受け付けた意見への対応について

濱崎幹事より、資料 P10SC41-3 に基づき、標準原案について、第 85 回標準委員会（2021/9/01）での報告と決議投票（SC21-05）について説明された。

決議投票の結果、賛成多数で可決されている。寄せられた意見について、回答と反映箇所を 11 月の標準委員会で説明することとした。回答案等に係る主要な議論は以下である。

- （意見・コメント No.1）「解説 5.7 地震と津波の重畳に関する考え方」に記載のある「（地震⇒津波に伴う累積的損傷に関して）現時点では技術的な知見が完全に不足し

ているのが実情であり」のうち、「完全に」はコメントの通り、誤解を生む可能性があるため、削除する。

- （意見・コメント No.2）現状の回答案にある「～不明な点は無いと考えます。」は「明確に定義しています。」等に修正する。
- （意見・コメント No.2）格納容器ベントに係る「低所放出」の記載については、そのように記載する理由がないことを考慮して「低所」を削除する。また、格納容器ベントに係る本文箇条 10 等にも触れるよう回答修正を検討する。

また、事務局からの気付き事項（JIS 規格に沿った表記等）も反映して修正することとした。

議題 4 地震拡張版の発行準備状況

<要旨>

濱崎幹事より、資料 P10SC41-4 に基づき、レベル 2PRA 標準原案（地震拡張版）の準備状況について説明があった。転載許諾手続きと出典元の追記が完了し、85 回標準委員会（09/01）にて発行手続きに進むことが承認された。発行に向けて、体裁等の最終チェックを行い、電子ファイルを事務局に移管した。事務局の方で、11 月 5 日を目途に発行準備が行われている。

議題 5 今後のレベル 2PRA 標準の改定計画へのアンケート結果について

<要旨>

濱崎幹事より、P10SC41-5 に基づき、本分科会における次期作業の優先度判定等のために実施したアンケート結果について説明があった。緊急度、重要度の高い対象事項について重み付けをして集計した結果、「地震（階層化、新知見等）」と「停止時、低出力時」の点数が高く、階層化等について、標準策定 5 年計画も確認しながら各位の意見を共有した。次期制定・改定候補としては「停止時、低出力時」のニーズが比較的高いために次期の対象標準として設定することとした。また、階層化の検討も重要であるため、本分科会内で人員を分け、検討チームを別途設定して並行し、レベル 1 での事例確認を足掛かりとして作業を実施し、レベル 2 標準には階層化を適用できるように進めていくこととした。階層化した標準制定のために、作業量が増えることについては策定計画中の期間を延ばして対応していくこととした。なお、アンケート結果については、火災溢水やマルチユニットなど、上記のまとめ以外の意見も貴重であり、意見を整理した資料は上位の委員会で紹介し、今後の課題としての呼び水とすることも有用である。

議題 6 JCNRM L2-WG の参加報告

濱崎幹事より、P10SC41-6 に基づき、2021 年 9 月に開催された JCNRM の L2WG の参加報告がなされた。作業会としてレビュワーからのコメント対応を主に行っており、SRs

(SupportingRequirements) の補足説明 (NMA:Non-MandatoryAppendix) へのコメントの回答案と修文の議論, LERF 評価に対する L1/LERF 標準と L2 標準の互換性の確認, Part1 (一般要求) の記載確認が中心に行われていた。レベル 2PRA 標準発行のスケジュールは遅れており, 修正版の再投票が 2022.5 に, 発行は 2022.11 に予定されている。

議題 7 今後の進め方

<要旨>

濱崎幹事より, P10SC41-7 に基づき, 今後のスケジュールについて説明があった。

レベル 2PRA 標準 (地震拡張) は 11/5 頃の発行予定で, 標準講習会の開催は 2022 年 1 月頃をターゲットとする。レベル 2PRA 標準 (津波拡張) は, 58 回リスク専門部会 (11/11) にて決議投票意見への回答と標準への反映を説明、86 回標準委員会 (12/9) にて, 決議投票意見への回答と標準への反映を説明の予定である。

次回の分科会は 2022/01/28 (金) 13:30 から Web 会議で開催する予定とした。

以上